

甲斐市立双葉西小学校 学校関係者評価書

令和7年2月25日（火）

甲斐市立双葉西小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和7年2月14日（金）

会 場：甲斐市立双葉西小学校 理科室

参加者：（学校関係者評価委員）

小田切千尋・石原 茂雄・花田 弘樹・箭本 昌人・山田 幸雄
斉藤さや香・中野 洋晶・日永 龍彦・中島 雅子・前村はぎ映
日向 美果・

（学校側）

小宮山 昇（校長）・武田 真弓（教頭）・清水 仁（教務主任）

山本真由美（CSコーディネーター） ・三森かおる（事務）

I 学校側から提案された内容

「令和6年度 双葉西小学校自己評価書」について

- 1 達成状況について
- 2 今後の取組について
- 3 まとめ

II 協議された主な内容

- 1 学校教育目標・学校経営について
- 2 学校運営について
- 3 学習指導について
- 4 生徒指導について
- 5 地域との連携について
- 6 学校の特色について
- 7 成果と課題について

〈学校関係者評価書〉

1 全体評価

- 肯定的な意見が多く、教職員の日々の努力が児童や保護者に伝わっていることが感じられる結果であった。
- 多くの児童が学校生活を楽しんでいることを嬉しく思います。しかし9%の児童（約20人）は楽しいと思っていないことは心配だ。全員が楽しいと感じることができる学校になるよう努めてほしい。
- 学校のカリキュラムを進めながら働き方改革を行うのは困難なことだと感じる。

2 観点ごとの評価結果

I 学校教育目標・学校経営について

- 肯定的な回答が100%だったことは非常によい。
- 定期的に教育活動の見直しを行い、教育の質を高めてほしい。
- 教職員のスキルの向上に努めてほしい。
- 児童や保護者等の意見・感想を聞き学校体制を整えていってほしい。

II 学校運営について

- 災害はいつやってくるか分からない。いざというとき速やかに行動できるよう危機管理マニュアルの理解を確実にしておく必要がある。
- 特別支援教育の体制が整い機能していることがよかった。特別支援は個別最適な学びにつながる。また、学校全体が優しい学校になり、素晴らしいことだと感じる。
- 働き方改革への意識が向上していることはよいことである。しかし、教員の仕事は終わりがなく、パフォーマンスを下げずに仕事を切り上げることは難しいことだと感じる。

III 学習指導について

- ICTを授業によく活用できたことは今後につながる。
- IQよりEQが求められる時代である。高いコミュニケーション能力をもつ人になれるよう、基盤づくりを行ってほしい。すぐに結果が出ることではないので、粘り強く取り組んでいく必要がある。
- 保護者が学校と連携し、学習内容や進捗状況を把握して子供の成長を支えることが大切だ。
- 時代が変わり教育内容も変わってきたので、保護者や地域住民にもその変化を伝える必要がある。
- 教職員には、学校評価をよい機会と捉え、自身の学習指導を見直していってほしい。

IV 生徒指導について

- 「学校に相談できる先生がいる」と多くの児童・保護者が回答しているところが素晴らしい。
- 一人一人の個性や特性を理解し適切なアプローチをすることが欠かせない。
- 不登校については、家庭の環境による場合もあるかと思われる。学校が介入することが難しいケースもあるのではないかと。教職員の負担が大きくなりすぎないように配慮していってほしい。
- 不登校児童の対応に、医療機関やカウンセリングを活用してはどうか。早い段階で専門家が適切に関与することで学校生活も円滑になるのではないかと。

V 地域との連携について

- CSのこれまでの積み重ねが成果となって表れている。今後も保護者・地域・学校が一体となって児童の教育にあたっていきたい。それに際しては、CSはあくまでも学校主体の活動であることを地域に伝えていく必要がある。
- 地域の方々との交流によって地域への愛着が深まると思うので、学校と地域の連携は今後も大切にしていってほしい。
- 児童の命を守るために、登下校の安全の大切さを感じる。今後も、児童の安全に関する日常的な活動を学校と地域が連携して行っていくのがよい。
- 授業の補助は、安全に、よりスムーズにと考えて行っている。CSの活用方法を再検討し、支援者に対して担任がどのようにしてほしいのか、何をしてはいけないのか、授業の前に説明するということが必要ではないかと。

VI 学校の特色について

- CSとしての歴史が長くなった。今後も他校の手本となって活動をしていきたい。
- 引き続き、読み聞かせやブックトークなどを行い、読書への興味が高まるような活動を行ってほしい。ビブリオバトルなど新しい試みもよいと思う。

VII 創甲斐教育について

- 「手洗い・うがい・水分補給」という自分の健康を守る活動がよくできていてよい。
- 基本的なことがきちんと指導できていてよい。

その他

- 学校運営協議会の活動にもICTを活用することはできないか。
- 長寿命化工事が行われている。安全にできる範囲で、児童に、工事関係者が働く様子を見学させてあげることができないか。キャリア教育につながるのではないか。
- 西小の児童は、しっかり目を見てあいさつをしてくれてよい子に育っていると日々感じている。

3 今後の課題として確認されたこと

- いじめ・不登校等の早期発見・早期対応に努めること。
- さらなる地域の教育力を生かす授業・活動を行っていくこと。

※特記事項

- 特になし

記載責任者：甲斐市立双葉西小学校 学校関係者評価委員 小田切千尋

